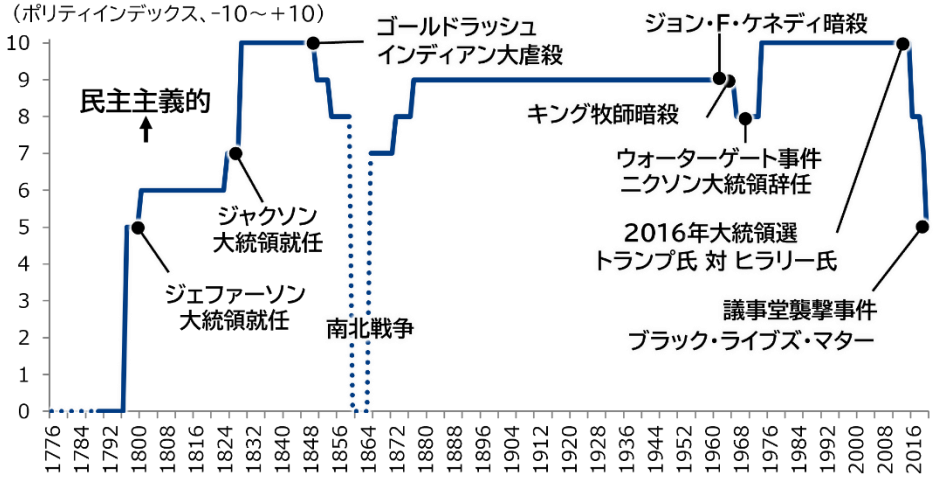
米国

大統領選挙後の政治的混乱リスク（2024年10月）

政治的分断が進む中、米国大統領選挙後の混乱に注意

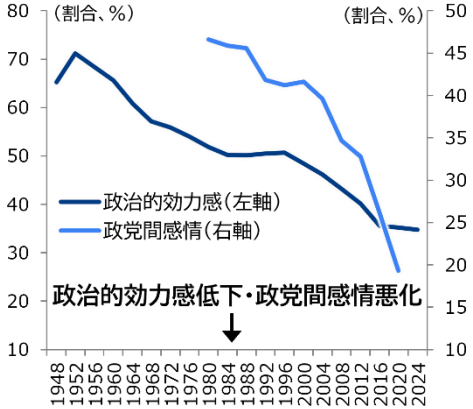
政策・経済センター
淺井優汰
03-6858-2717

1 米国のポリティ・インデックス（-10：専制主義↔＋10：民主主義）



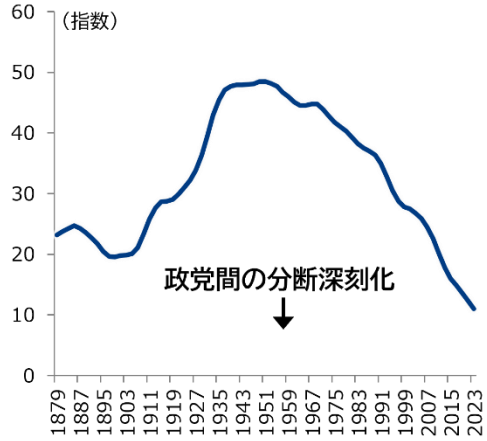
注：点線は、侵略などによる国家の中断、国家権力の空白、新体制までの移行期間を示す。 出所：” Polity5 Project, Political Regime Characteristics and Transitions,1800-2018,” Center for Systemic Peaceより三菱総合研究所作成

2 国民の政治的効力感、反対政党に対する感情



注：政治的効力感は、①人々は政府に発言権を持つか、②公職者は人々の考えを考慮しているか、の2つの質問の賛成割合を合成したもの。政党間感情は、反対党を評価する割合。いずれもMRIでLOESS平滑化を行った値を示す。
出所：全米選挙調査（ANES）より三菱総合研究所作成

3 議会における政党間の分断度合い



注：上院と下院における民主党・共和党議員の投票行動を基に、党派間の分断度合いを指数化したもの。MRIでLOESS平滑化を行った値を示す。
出所：Jeff Lewis, October 23, 2023, “Polarization in Congress” voteview.comより三菱総合研究所作成

評価ポイント

大統領選挙の現況

- 24年11月大統領選挙では、民主党候補・ハリス氏と共和党・トランプ氏の大接戦が続いている。全米支持率をみると、ハリス氏がトランプ氏を2%ポイント程リードしているが、勝敗のカギを握る接戦州では、両候補の支持率はほぼ互角だ。2020年大統領選と同様、選挙結果の確定には時間を要する可能性が高い。
- 選挙結果次第では、政治的混乱が発生する恐れがある。20年大統領選では、トランプ氏が敗北を受け入れず、トランプ支持者による議事堂襲撃事件を誘発したと指摘されている。ロイター/イプソス調査によると、有権者の68%が大統領選挙後の政治的な暴力の発生を懸念している。また、選挙結果を信頼するとの回答割合は、民主党員では87%にのぼる一方、共和党員は47%にとどまる。本稿では、現実味を帯びる米国の「政治的混乱リスク」について分析した。

懸念される選挙後の「政治的混乱リスク」

- 米国の民主主義は岐路に立たされている。選挙の自由度、行政府の制約度などから政治体制を指数化したポリティ・インデックス（民主主義指数）をみると、2017年以降に急低下しており、これは民主主義の後退を示す。2020年時点で、米国のスコアは+5と、1800年以来の最低水準に落ち込んだ（図表1）。
- 実際、国民の政治的効力感（国民が政治に影響力を行使できている感覚）は低下、国民の反対政党に対する感情も悪化の一途をたどっている（図表2）。
- 国民の政治不信や政治的価値観の分断が進む中、議会における民主党と共和党の対立も深刻化している（図表3）。このような世論と政治領域の悪循環は、内政面では政策の停滞や極端化、予見可能性の低下を招き、米国経済の重しとなろう。また、内政の混乱により米国の内向き化が加速すれば、世界の地政学的な不安定性が一段と高まりかねない。長期的にはグローバルサウスなどを中心に、民主主義への失望、権威主義への傾倒が進む恐れもある。

※参考文献1：バーバラ・F・ウォルター著「アメリカは内戦に向かうのか」井坂康志訳 東洋経済新報社 2023年4月
※参考文献2：ロバート・D・パットナム、シェイリン・ロムニー・ギャレット著「上昇（アップスウィング） アメリカは再び団結できるのか」柴内康文訳 株式会社創元社 2023年7月

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.